

セツブンソウの成長期間



花が咲いていないものは発芽から2年または3年目の株です。

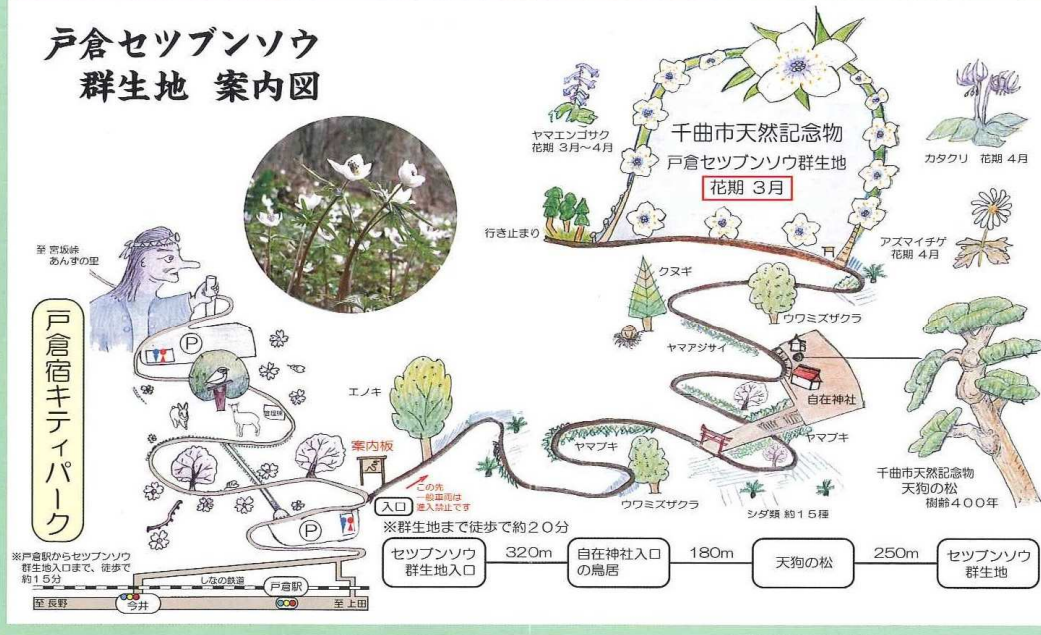


◎千曲市での開花は3月
暖地では節分の頃に開花するので「節分草」と言われています。



戸倉群生地のセツブンソウは長野県下最大級の広さです。

戸倉セツブンソウ群生地 案内図



★ セツブンソウは春の妖精 ★

セツブンソウはキンポウゲ科に属する多年草で日本の固有種です。関東地方から中国地方にかけて分布していますが、千曲市の戸倉、倉科にあるセツブンソウ群生地は東日本の北限にあたります。千曲市ではセツブンソウの保護を図るため、平成18年に市指定天然記念物に指定しました。また、市を代表する花として平成20年に、あんずの花と共に千曲市花に指定しました。

冬の間、雪の下でつぼみを持って春芽吹きへ準備をしています。雪が融けると地上に芽を1cm位出します。その芽は「つぼみ」です。

そして1週間後には完全に開き、約2～3週間のみ開花します。

この頃、雑木林は葉がないので、よく春の日差しを浴びてセツブンソウは実を大きく実らせませす。種子が成熟する頃には、頭上の木々は葉を広げ地上に届く光は木漏れ日くらいで環境もすっかり変わります。

地上に種をまいた後は、約45日で地上の生活を終わらせ休眠に入り、また春の来るのを待っています。種から芽を出し咲かせるまでに4年から5年かかります。

戸倉セツブンソウを育てる会の活動事例



セツブンソウが開花している期間中、会員が当番制で群生地の巡視活動や花の案内を行っています。



群生地および群生地の沿道に植栽された、ヤマアジサイの手入れや草刈りなどの整備活動を行っています。